

歌と語りのコンサート「テレジン もう蝶々はいない」



実施者:テレジンを語りつぐ会

社会や地域の課題

関わった課題としては、「命や平和の大切さについて考える」ということです。日本においても、また世界においても、戦争への不安や恐怖、命が軽んじられる現実があります。県内においても弾道ミサイルを想定した避難訓練が各地で行われました。戦争がじわじわと近づいているという声が聞こえています。今こそ、命や平和について考える機会が求められていると思います。

取組概要及び成果

市民に命や平和について考える機会を提供することはできたと思う。寄せられた感想には、「収容されていた子どもたちのもっと生きていたかったという願いに心打たれた」「子どもたちにとって“いのち”が保証され、いつもの“日常”を送ることがどんなに尊いことか」「今の平和を考えるととても貴重な機会になった」「世界では、今なお戦争や災害など困難な状況が続いています。どこの国・どんな民族に生まれてもみんな笑顔でいてほしい。未来に夢を抱ける世界であってほしい」など、いのちや平和の大切さに触れるものが多かった。沢山のアンケートが寄せられたことから、コンサートを通じて命や平和についての関心が高まったと思われる。

子どもたちは、テレジンの子どもたちの置かれていた劣悪な環境に驚き、今の自分たちの生活を顧みている。同じ年代の子どもたちが、戦争に巻き込まれて悲惨な最期を遂げたことを知り、戦争の恐ろしさと共に、命と平和の大切さに気付いたという感想も多かった。歴史の事実から、命や平和の大切さを考える時間が持てたと思う。